

ひろく のひろ場

♡募集しています♡

イラストやマンガ
短歌・俳句・詩・随筆
サークル・グループ紹介
お子さんの写真
町への意見や要望など

応募先

〒950-1196
黒崎町大野2843-1
黒崎町役場 広報くろさき係

(匿名でもよいですが、
連絡先を忘れずに)

問い合わせ

総務課 総務係 ☎377-3101

短歌

黒崎短歌会

例会の短歌の原稿まどめ役の吾
をねざらう一筆つれし
上山 恵子
雪の夜半窓明るきに目覚むれば
澄みし夜空に寒月浮ぶ
笠原 セツ
明治の初期民権説き活躍せし
山際七司氏今にして憶う
泉井 ヨ子
ほし柿が見えずなりゆく夕暮に
帰りの遅きうから待ちあり
阿部 淨子
病む腰の不安はあれど新春の絵
に魅せられて佇つ傘杖にして
金内 セツ

星の夜に花嫁花婿入場すきらめ
くドレス拍手をあびて
大矢 キイ
市の日は色とりどりの花あふれ
冬の歩道の朝飯わう
大湊 ミキ
万代に称え継がれし桜花千年紀
にみる意義深くあり
阿部 テイ
信濃川赤き小旗の点々と寒風に
立つ 何か創むる
小出 美喜子
白鷺の水辺に一羽おり立ちて細
き足にてひそと歩みぬ
永田 キヨエ
い少し力づけんと寒風を押し
て歩けば小草の青く
柴垣 きみ

俳句

黒崎俳句会

千秋楽初優勝の武双山国歌の斉
唱に胸うたれたり
大谷 モト
伊弥彦の山の稜線くきやかに二
千年の陽光降り注ぐ朝
丸山 幸
組み直したる楯の火の明るさよ
海見えるまで歩き来て日脚伸ぶ
けんじ
凍てかへる夜道キラキラ星明か
り
多佳
忘れぬ旧正月を祝いけり
智恵子

歳時記

香焚かれ 一人静の 円覚寺
勝村 茂美

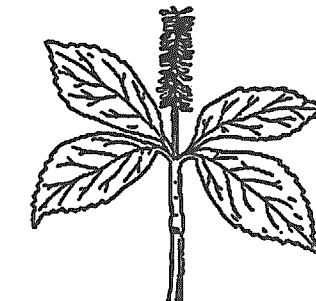
一人静は、センリヨウ科の
多年草で、春、高さ約二十セ
ンチメートルほどの一本の莖
の先に、白く小さな花が密生
して咲きます。日本全土、
朝鮮半島、中国東北など、
東アジアに広く分布し、
低い山や山里に多く見ら
れます。

二人静も同じようなと
ころに分布し、三十三セ
ンチメートルほどの莖の先
に、四枚の楕円形の葉が
付き、初夏その中に二本

の花穂が出て、白い花を開き
ます。一人静、二人静とも山
道を歩くとひっそりと咲いて
いることから、この名前が付
いたともいわれています。ま
た、別名をヨシノシズカとい
うのは、能の曲名「二人静」
に関係があるようです。源義
経が愛した静御前を題材にし
たもので、吉野の野辺で若菜
を摘む菜摘女が、川のほとり

で見知らぬ女性に出会ったと
きから様子がおかしくなり、
神職に「自分は静御前である」
と言い、宝蔵の中の舞の衣裳
を身に着けると、全く同じ姿
をした静御前の霊が現れます。
霊は義経が吉野山を落ちの
びたときのことなどを物語っ
て舞を舞います。それと一緒に
に菜摘女も霊と同じ動きをす
るといふ話で、いわゆる憑物
の能の一つです。

ところで四月十日から
十六日まで「二十一世
紀に向けて自分らしい生
き方ができる社会を創ろ
う」をテーマに、「女性週
間」が実施されます。全
国の官公庁へのポスター
掲示や、全国会議の開催
などが予定されています。



月光の刃の如き二月かな
富代
砂時計細き音たて冴え返る
トシ子
春燈やケーキ屋の窓異国めき
敏郎
小面の伏目がちなり水仙花
秀子
水仙や書院障子のうすあかり
緋佐子
留守家にも明りこぼれて月冴え
る
みどり
学校へ一直線の凍み渡り
文雄
春寒や会津赤べこ首を振り
律子

老梅の朽らし虚ろの冴返る
一翠
神鈴の水に響けり梅の花
悦女
自動車の轍くつきり春の雪
水仙
引き鴨の群れそはそはと羽ばた
ける
窓を開け四温の風を家中に
成子
ふくらみし蕾の梅を地に下ろす
友佳
土鈴雛掌にのせ鳴らす小とこよ
舞子
群鴨川へ追ひ上げ春疾風
飛浪

爛漫の臉に浮ぶ加治堤
鹿嶋 トイ

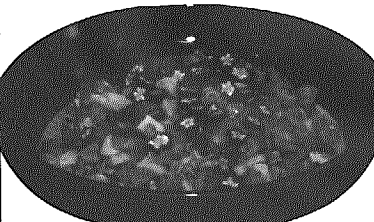
食

健康まつり
好評メニュー

一食生活改善推進委員会

鮭の中骨と野菜の煮物

カルシウムをとって丈夫な骨づくり



●エネルギー 82 kcal
●カルシウム 630 mg

- 材料** (4人分)
- 鮭の中骨缶 ……1缶 (200g)
 - ごぼう ……1本
 - にんじん ……1本
 - 竹の子水煮 ……小1個
 - オクラ ……3本
 - 酒 ……大さじ3
 - しょうゆ ……適量

- 作り方**
- ごぼうはまわし切りにして水につけアクを抜く。
 - にんじんは小さい乱切りにする。
 - 竹の子も小さい乱切りにする。
 - オクラはゆでて3ミリに切る。
 - 鮭缶の汁と酒と野菜とだし汁で柔らかくなるまで煮る。鮭の中骨を加えて煮る。味を見てしょうゆで味を整える。

